

# あさがお通信 第10号

2007/09/30発行  
大津市浜大津3丁目2-4 NPO法人 あさがお  
発行人 鎌田昭二郎

## 残暑お見舞い申し上げます

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われていますが、もうその時期になりました。今年の夏は、今まで経験したことのない暑さでした。皆さんは、どのように過ごされていますか。私は、朝一番にあさがおの花を見るのが日課です。その時に一杯の水をあげ、夕方にも明日きれいに咲いてねとまた一杯の水をあげます。



あさがおの事務所も、朝一の打ち合わせ・明日の準備のための「一杯の水」は仕事に活力を与える大切な会話です。花びらの朝露の一滴は、会員の皆さまのご支援です。いつまでもきれいなあさがおが咲きますように。

## 地域支援員養成基礎講座

### 鋭意開催中です！

地域支援員養成基礎講座も、無事に5回を終えました。

第1回は、小西達也さんと海岸秀さんが「支え合って生きること語り合います」をテーマに、心に響くトークライブを、会場全体がその語り口に魅了されていました。

第2回は、西村優子さんが、「高齢者の心理とくらし」について、お話下さいました。特に認知症についての講義では、認知症高齢者の周辺症状や行動には一つひとつの意味があるのだということ強調されていました。またワークシ

ョップでは、大切なものを十個挙げ、その内の九個を否定し、たった一つに絞り込む、という作業を行いました。そこから、施設入所において全てのものを持ち込むことが許されない高齢者の心理に心を寄せることができました。

第3回の西川健一さんの講義では、「障害者の心理とくらし」をテーマに、「障害」とはいったい何なのか・障害を持って地域で暮らすとは

どういうことなのか・目の前にいる人がどのような生活を望んでいるのかが理解できないから「そ、わかんない」、そして「関わる」のだという、大切な一つの事柄を教えていただきました。

第4回は、宮川正治さんから「高齢者の病氣」について伺いました。中でもうつ病の診断や治療について、また認知症を疾患として理解する事の重要性や、その症状、正しい働きかけについて、医学的な視点から大変分かりやすく説明していただきました。

第5回では、高谷清さんが「人間の『障害』について」というテーマでお話下さいました。脳に起因する様々な障害について、それぞれ詳しくご説明頂き、人間の発達についても丁寧に触れられました。人間の存在というのは絶対的なものであり（人格的な存在）、向上しよう成長しようとする存在である。人間の価値を見るのではなく、人格を見ること・あるがままを受け止めることが大事だというお話が、印象的でした。

ここに改めて、お忙しい中ご講演下さいました講師の方々に、深くお礼申し上げます。

第1回  
トーク  
＆ライブ



トーク  
＆ライブ  
参加者の  
みなさん



第2回  
高齢者の心理  
と暮らし



第5回  
熱心に学ぶ  
預ける受講生





回	月日	内容	演題	講師等
1	7月18日 公開講座	開講式	あいさつ	あさがお理事長 藤田昭二郎
		講義	「人を支援する」ということ 支援する者とされる者の関わり	シブチ・ツク・ツク 真盛園統括部長 小西 達也 海津 秀
2	7月25日	講義	高齢者の心理と暮らし	真盛園介護課長 西村 優子
		がらワーク	高齢期のあなたの暮らしは…	
3	8月22日	講義	障害者の心理と暮らし	琵琶湖病院
		がらワーク	障害を持った私の暮らしを考える	医厚フコクカ 西川 健一
4	8月31日	講義	高齢者の病気	瀬田川病院副院長 富川 正治
5	9月10日	講義	障害者の病気	第一びわこ学園元園長 高音 清
現場実習(9月上旬)				
6	9月19日	報告	介護事業所における実習報告	聖地域域包括支援センター 主任アサヒツネ 扇田 宗親
7	10月3日	講義	高齢者を支える制度	大津市高齢福祉課 近澤 貴徳
		講義	障害者を支える制度	大津市障害福祉課 西田 昌弘
8	10月17日	講義	消費者被害の実態	あさがお相談員 植田英穂子
		講義	高齢者・障害者の権利侵害の実態	大津市社協相談員 山口浩次
9	10月31日	講義	成年後見制度について	せせらぎ法律事務所 弁護士 竹下寅夫
		講義	地域福祉権利擁護事業について	大津市社協相談員 井ノ口浩士
10	11月7日	講義	対人援助技術・面接技法	龍谷大学社会学部 准教授 山田 容
		実技実習	対人技術実習	
11	11月21日	講義	人を支えるサービスとそのコネクト	申地域域包括支援センター 社会福祉士 藤川 潤
		講義	人を支える地域の活動	龍琴学区民生委員 小倉勝世
現場実習(11月下旬)				
12	12月5日	講義	あさがおの活動と成年後見制度	あさがお相談員 尾崎・谷口
		報告・討論 開講式	支援員講座から「支援」を考える	受講者

地域支援員養成基礎講座はまだまだ続きます。

興味のある方は、あさがおまでお問合せ下さい。

### 寄付者名簿

あいおい 有限会社アッド 伊豆蔵健 伊豆蔵光子  
磯部春美 白井智子 内田裕子 扇田宗親 大熊由紀子  
小倉勝世 大辻恵子 鎌田久美子 砂川勇 佐藤伸隆  
猿山由美子 齋藤暢子 相井絵美子 武村正義 田中博一  
田辺久子 田谷伸雄 田淵よしみ 近澤貴徳 堤修三  
土井裕明 土井益実 西村敏夫 西村優子 羽形山喜六  
蓮井敦 八田憲児 服部節子 林淳子 平松みよ  
福井英夫 藤本直規 細見美津子 堀江清治 堀江慶一郎  
堀江浩三 堀江重之 松崎茂 株式会社メディック  
森田智恵子 森田真潮 八田憲児 山口悦子 山口喜三郎  
山口浩次 山口善次 八耳美代

(敬称略)

平成十七年二月にあさがおが誕生して2年のか月経が過ぎました。おかげ  
さまで少しずつですが成長してきました。この間の、滋賀県や大津市の  
「支援員」指導、企画はじめ関係者の方々の暖かい「支援」に対し、厚く  
御礼申し上げます。

さて、設立から今日まで当法人に対しまして、心温まる「寄付」を頂き  
まして有難う御座いました。「寄付」の種類に沿うよう大事に扱わせて頂  
きます。

大変遅くなりましたが、「寄付」いただいた方々のお名前を「この報告  
」させていただきます。今後ともますます願っています。





## 後見活動日記



三郎さん（仮名）の家は、緑あふれる深い山の集落にあります。築100年の堂々としたたたずまいですが、今にも倒れそうにも見えるその家が三郎さんのお城です。馴染みのヘルパーさんが週2回来て買い物や料理をしてくれていました。しかし三郎さんはサツマイモが何よりの好物で毎日そればかり食べていました。「お金があるんやからもっとおいしいものを食べて、栄養つけて」と人に言われてもにっこりと笑って手をほうばる日々が続きました。

ある日、突然家の中で倒れました。ヘルパーさんが見つけ、病院に運ばれました。脳梗塞で半身がマヒし、車椅子での生活となりました。しばらくしてリハビリのために老人保健施設に移りました。そして、あさがおが後見人になりました。

三郎さんの願いはただひとつでした。「家に帰りたい」という思いです。ケアマネージャーさんと施設の職員さん、あさがおが付き添い、家まで外出しました。いつも自分が座っていた場所に座り、それまで止めていたタバコを一服、「ふうっ」と吸って、それからもう「家に帰りたい」と言わなくなりました。

生活の場を求めて、グループホームに入りました。ホームでは楽しく過ごされてきました。その矢先、新たな病気にかかってしまい、また病院に入院することになりました。病院に入ってから「さびしい」「なるべく来て欲しい」が頻繁になりました。ホームの職員さん、以前訪問していたヘルパーさんやケアマネージャーさん、あさがおが毎日のように会いに行きました。そしてある朝、とつとつ息を引き取られました。

お通夜と葬儀をあさがおで執り行いました。ホームの職員さん、ケアマネージャーさん、ヘルパーさんが参列しました。そしてもう何年も会っていなかった親戚の方も遠方から来てくださいました。ヘルパーさんは大好きだったサツマイモをふかして持ってきてくれました。「よかったね、三郎さん」

葬儀が終わって、墓園に行く途中、葬儀社の方のほからいで、自宅に立ち寄りしました。皆で「帰ってきたね」と話しかけました。近所の方が次々と集まってこられ、お別れを告げられました。

「皆様ありがとうございます」「三郎さん、きつとそうお礼を言っています。そして、三郎さんの人生の最後の最後を共にしたことをおは幸せに感じています。」

三郎さん、ありがとう。





## 編集後記

今年の夏は、とても暑かったように思います。8月に入っても気温が下がらず、毎日寝苦しい夜が続きました。最近になってようやく朝夕は過ごしやすくなりました。この先はひと雨ごとに秋が深まっていくのでしょうか。それとも一足飛びに冬になってしまうのでしょうか。

夏が暑いと、「地球温暖化のせいだ」といってしまいたくなります。季節外れの台風や大雨も、何かと異常気象と騒がれがちです。暖冬や冷夏の年は、やはり「エルニーニョ現象だのニニョ現象だの」と、やはり地球温暖化と結び付けられます。暖冬はいいから、冷夏が温暖化のせいだ、というのはいささか納得しにくい気がします。

## <本の紹介>



「絵で見る認知症」

(株)カネパ「ブライバク」 大園英智子 著



「異質の光」

大月書店 高谷清 著



「はだかのいのち」

大月書店 高谷清 著



「ころを生きる」

三学出版 高谷清 著

さて、それでは今年の夏は本当に暑かった

のだろうか。気象庁の「データバンク」を調べてみたところ、今年の夏は確かに暑かったようです。8月の平均気温は半年に比べて1.28度高く、「1」の半年差は8月としては過去4番目に高い数値だそうです。ちなみにこの番目も去年で、半年比1.28の最高平均気温でした。特に今年は7月の平均気温が半年より低かったらしく、余計に8月が暑く感じたのではないのでしょうか。

10月の気温がどうなるかはわかりませんが、是非暑くもなく寒くもなく、過ごしやすい気候になって欲しいと思います。それは別に地球環境のよい関係なく、平凡な小市民の願いでもあります。



## ★今月の一句

宇宙船より

風船に乗りたい猫

加藤風信旗

\*\*\* 会員募集しています \*\*\*

私たちの活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人 入会金 1,000円 年会費 5,000円

団体 入会金 10,000円 年会費 50,000円

お問い合わせは 077-522-0799 まで。

